

平成 22 年度 学校自己評価まとめ（学校法人盈進学園 東野高等学校）

目指す学校像

重点項目

生徒の能力を高めることと地域に根ざした学校に。

学力向上・・・創意工夫・個別指導・補習・講習・宿題
社会力向上・・・ルール・マナーをみにつけさせる

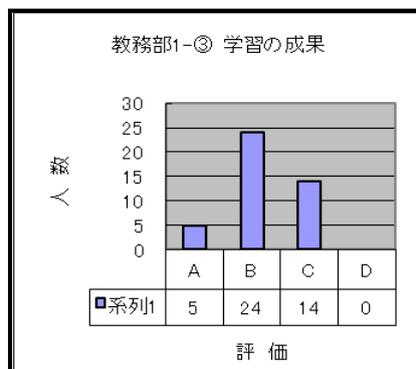
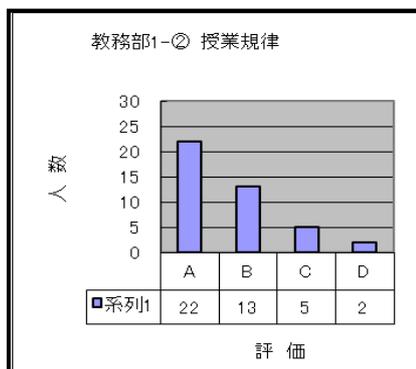
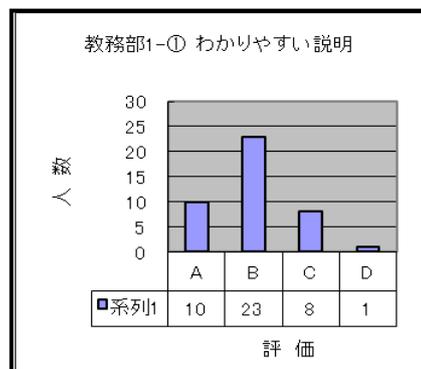
A: ほぼ達成 (80%以上) B: 概ね達成 (60%以上)

C: 今一歩 (40%以上) D: 不十分 (40%未満)

		評価項目	A	B	C	D	
教務部	1	① わかりやすい説明ができた(声、スピード、板書、教材)	10	23	8	1	
		② 授業規律を守らせることができたか	22	13	5	2	
		③ 学習の成果を上げるための指導ができたか	5	24	14	0	
進路	2	① 生徒の進路志望情報を把握しているか	13	15	8	6	
		② 進路を意識した学習に取り組ませるための指導ができたか	3	24	12	4	
生徒部	3	① 頭髪・身だしなみの徹底を	日頃	9	25	3	4
		② 図る為の指導ができたか	授業時	12	17	11	3
		③ 生活規律を守らせることができたか (遅刻、授業遅刻、問題行動)		12	18	11	2
		④ 生徒の自治活動に対して、	クラブ/同好会/委員会	12	9	14	7
		⑤ 積極的に関わられたか	体育祭	17	11	7	5
総務部	4	① 学校美化や学習環境の整備を促す指導ができたか(クラス・授業クラス・部室・校内)	8	25	5	2	
		② 学校行事に対して、積極的に関わることができたか(入学式、保護者会、試験、体育祭)	14	24	2	0	
募集	5	① 中学校、塾訪問で学校説明ができたか	11	16	10	0	
		② 募集行事に積極的にに関わり、対応できたか	11	17	9	3	

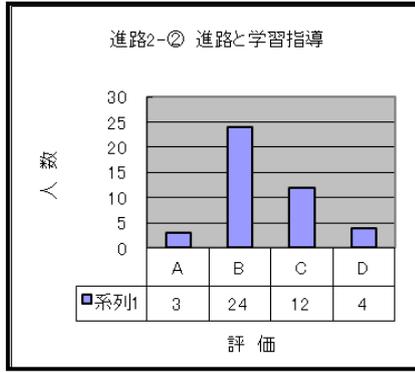
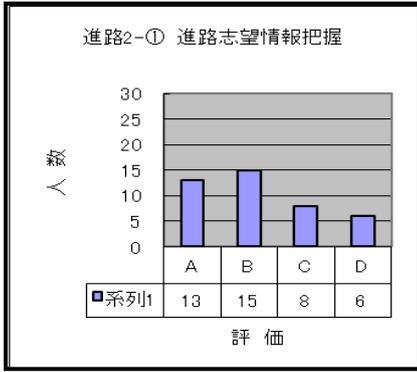
【自己評価データ分析及び各教員からのコメントによる総括】

教務部



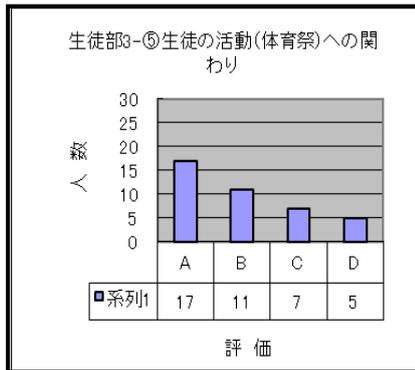
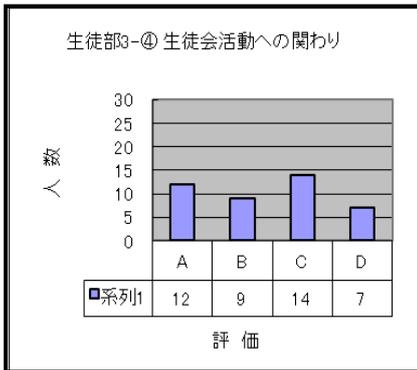
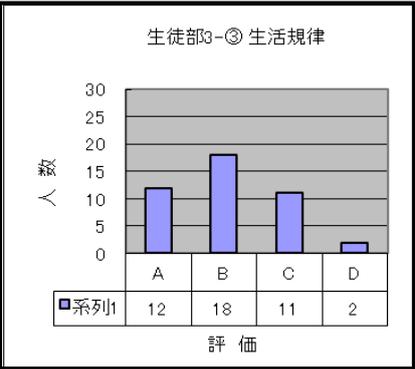
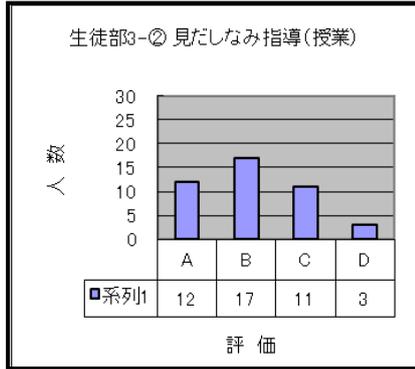
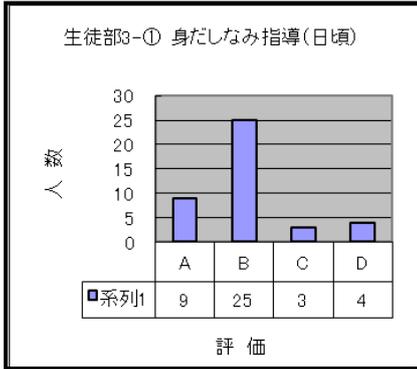
授業規律を守らせた授業がほぼ出来ているという結果である。わかりやすい説明を工夫し、学習の成果を上げるための努力は行っているものの、課題を抱えている教員が多い。特に、学習内容の定着のために反復学習や自宅学習を行うべきだと考えているものの実践できていない現状がコメントより読みとれた。また、学習習慣がない生徒に対する指導に苦労している。

進路指導部



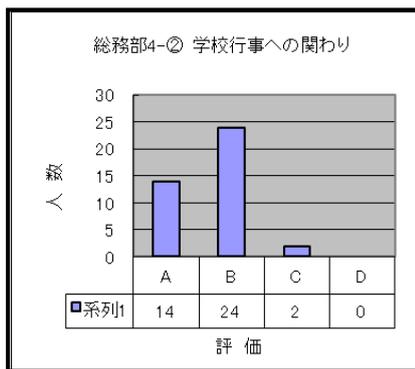
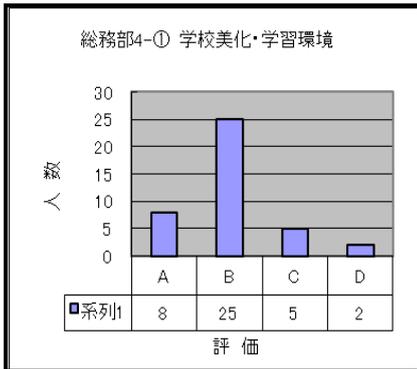
三者面談により担任は生徒の進路志望を把握しているものの、未定者が多い現状である。また、一部の生徒の進路のみ把握しているという教員も多い。未定者への働きかけを体系立てて行う必要がある。進路と学習という点から見ると、講習では積極的に勉強させているが、一般受験する生徒であっても基礎学力が身につけていないという状況に苦悩している。

生徒部



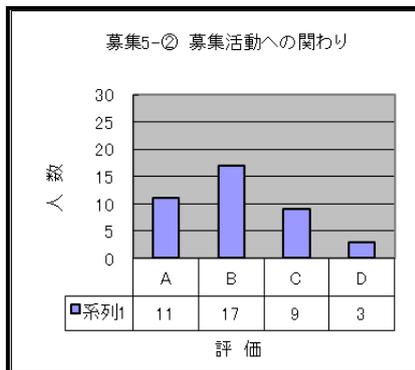
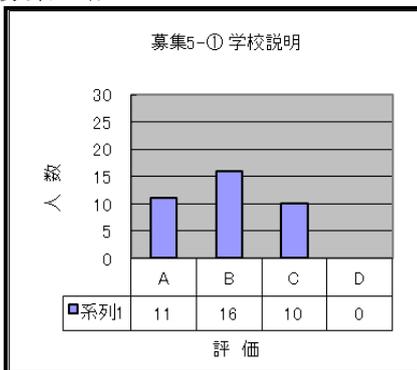
身だしなみや生活規律に関しては、時々見過ごしてしまうこともあるが、基本的には全教員が意識して生徒に声を掛けてきた。スカート丈と化粧への注意が今一步だったようだ。課題は、注意されたときだけ直すという生徒に対する指導方法である。遅刻生徒を減少させるために保護者との協力体制を課題に挙げている教員もいる。部活委員会への教員の関わりは昨年引き続き課題が残っている。

総務部



当番の生徒に掃除を促したり、教員自ら校内のゴミを捨てたりということを行っている。生徒に校内美化を意識させる指導へと発展させていく必要がある。学校行事は忙しい中で、自分の責任を果たしたと考えている教員が多い。分担以外でも状況判断をし、必要に応じて動けるようになるべきだという積極的なコメントもあり、前向きな姿勢が窺えた。

募集広報室



学校説明では新任の教員の中に自信が無く消極的になってしまったというコメントもあるものの、概ね自分の言葉で説明できるようになってきていると高評価だった。ただし、相手の反応が良くない場合の対応に課題を残している教員も多い。募集活動は2学期にピークを迎えるので、今後も力を入れていきたいと意欲が感じられるコメントが多かった。

平成 23 年度 学校関係者評価まとめ

(学校法人盈進学園 東野高等学校)

《平成 22 年度における学校関係者評価委員の活動》

- ① 学校自己評価の結果を踏まえ、「学校公開」を通して評価を依頼した。
- ② 年度 2 回（各 1 週間）の「学校公開」期間に授業等の参観を依頼し、授業、昼休み及び課外活動の様子に対し忌憚ない意見を求めた。
(全般的な評価を依頼)
- ③ 学校評価委員のほか、学外の理事・評議員ならびに監事にも参観を依頼し、総合的な学校力向上の参考となるよう工夫した。
(授業担当者毎のレポート依頼)
- ④ 「東日本大震災」を教訓とした学園の具体的な危機管理向上に努めた。
(保護者とのオンラインサービス構築と登録時にインターネットアンケートを実施)

《平成 22 年度における学校関係者評価：学校公開、アンケート》

I 授業の参観（教務部・進路指導部）

- ① 学習サポート体制を更に充実してほしい。
- ② 生徒対応についてはできる限り先生同士の情報共有が必要。
- ③ 授業によってはティーチングティーチャー（TT）が必要な授業がある。
- ④ 板書の工夫で授業は一層効果的になる。
- ⑤ 先生と生徒との双方向性のある授業はよい。
- ⑥ 声は、大きさ、テンポが重要である。
- ⑦ 各先生ともに昨年度より授業の工夫が凝らされている。
- ⑧ センター入試の授業は更なる習熟別が必要と思われる。
- ⑨ 進学指導の一層の強化に期待したい。

II 規律マナーなど（生徒部）

- ① 挨拶教育が徹底している。
- ② スクールバスの乗車状況が良好である。
- ③ 体育の授業に規律があり好印象である。
- ④ 部活動の活性化に伴う部活種類を増やしては如何か。
- ⑤ 部活動の専門指導者を増やしては如何か。

III 施設面など（総務・事務）

- ① 全体的には良好であるが、一層の利便性が求められると感じる。
- ② 時代に即した安全性・利便性の向上が図られると良い。

IV その他（全般的・募集広報室・事務）

- ① 売店の販売品の更なる充実を図りたい。
- ② スクールバスを更に増便できないか。
- ③ 学校説明会でのスクールガイドスタッフ（本校生徒）の対応が良好である。
- ④ 情報発信には Web、Mail を積極的に活用されるべき。
- ⑤ 学費について（値下げ・奨学金充実）、検討願いたい。
- ⑥ オンラインサービスによる早い情報提供を期待する。

以上